

ブルーカード発行(注意事項)

浪速区医師会

- 1 患者に、あくまで病状が急変したときの救急用のカードであると説明。
- 2 家族や、もし介護利用しているなら、ヘルパー、ケアマネに発行の旨を伝える。
- 3 もし救急車を利用する場合には、救急隊員の判断に任せることを説明。
- 4 病院も緊急時が重なることがあるので、受け入れてもらえないこともあると説明。

ブルーカード記入方法

浪速区医師会

夜間・休日緊急用		ID
ブルーカード		区分
		新規更新
		在宅一般
登録病院	依頼病院の選択	浪速生野病院
	受診機関病院	大野記念病院
かかりつけ医	記載年月日	年 月 日
	紹介元医療機関名	
	電話番号	医師名
	フリガナ	
	患者氏名	性別 男・女
	生年月日	明治・大正 年 月 日 (歳)
	住所	
	電話番号	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> その他
	緊急連絡先	氏名 電話番号
	主病名	
	既往歴	
	感染歴	
	現病歴	
	重要事項	
	薬剤アレルギー歴	ラテックス <input type="checkbox"/> 不明
		食物 <input type="checkbox"/> 不明
	日常生活の自立度等について	
	障害(者)の日常生活自立度(様たきり度)	
	認知症の日常生活自立度	

有郊期限 6ヶ月毎に更新

緊急連絡先

既往歴

薬剤アレルギー歴

障害・認知自立度

大阪市内**94**救急病院

2009年実態

拒否回数 平均**1.8**回 出動から搬送まで 平均**28.6**分



2009年度11月以降2010年9月まで
ブルーカード実績

拒否回数 **なし**回 搬送時間 平均**17.1**分

精神科疾患・身体疾患合併症救急搬送患者の受入体制 フロー図

